

学校便り

第298号
平成24年6月1日練馬区立光が丘第八小学校
校長 鈴木 隆志

ふれあいを深めて

校長 鈴木 隆志

6月は東京都教育委員会が実施する『ふれあい月間』（年3回、6月・11月・2月に実施）です。『ふれあい月間』は、学校におけるいじめ、不登校、暴力行為等の問題行動の未然防止やその対応にかかる取組の充実を図るため、次の2点を目的として実施しています。

- ①問題行動への取組状況の総点検を行い、現状や取組の効果等を把握する。
- ②問題行動の早期発見・早期対応、未然防止等につながる具体的な取組を実施する。

◆光っ子同士のふれあいを深めて

新年度が始まり二ヶ月が経ちました。学級や学年としてのまとまりも生まれ、異学年交流も進めている光っ子たちです。毎月実施している「光っ子活動」（1年生から6年生までの異学年児童で構成する縦割り班活動）では、互いに協力し合って仲良く楽しく集会活動を進めています。光っ子班ではウサギ小屋の飼育活動を行っています。7日の「開校記念集会」も、光っ子班を活用した集会です。

1年生と6年生との年度始めの「お迎え登校」、1年生と2年生との生活科「がっこうたんけん」、2年生と3年生、4年生と5年生との合同遠足や4年生からのクラブ活動、5年生からの委員会活動も、異学年交流を進める取組です。

今年度から登校時間を改め、朝遊びの時間（8：00～8：15）を設定しました。朝遊びだけでなく、中休みや昼休み、放課後も、自然な形で光っ子同士のふれあいを深めています。また、学校応援団による「光っ子ひろば」の活動でも、学年を超えた交流が進んでいます。

◆わかば学級と通常の学級とのふれあいを深めて

開級7年目となるわかば学級では、通常の学級との交流及び共同学習を進めています。交流給食はその取組の一つです。わかば学級児童の実態に応じて、体育、図工、算数、理科での共同学習も始まりました。有志による課外活動の合唱団に参加している子もいます。はたらく消防写生会、4年生の消防署見学、水道キャラバン、浄水場見学、5年生の秋の陽公園田植えでも、一緒に活動しました。今月は、1・3年生のアニマルセラピー、1年生の交通安全教室、4年生のふれあい環境学習、清掃工場見学が予定されています。

こうした取組を通して、わかば学級と通常の学級とのふれあいが深まっています。当たり前のこととして、互いに声をかけ合い仲良くしている姿は、特別支援学級設置校の特長を生かした本校の自慢の一つです。

◆保護者や地域とのふれあいを深めて

5月22日にPTA総会が行われ、今年度のPTA活動も本格的にスタートをしました。安全パトロールやおはなしポケットでも、お世話になっています。また、学校応援団による光っ子ひろばは、今年度から週3回の実施となりました。6月からは1年生も参加をします。

6月25日からは光四中・秋の陽小とも連携しての「あいさつ週間」です。子供同士だけでなく、大人にもあいさつができるように働きかけます。また、16日には青少年育成第七地区委員会主催の自転車安全教室が田柄小で行われます。地域の方とのふれあいを深めるためにも、多くの光っ子たちに参加をしてほしいと願っています。